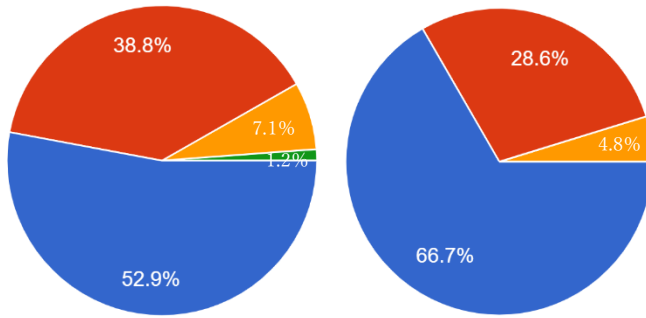


①楽しく学校に行っている。



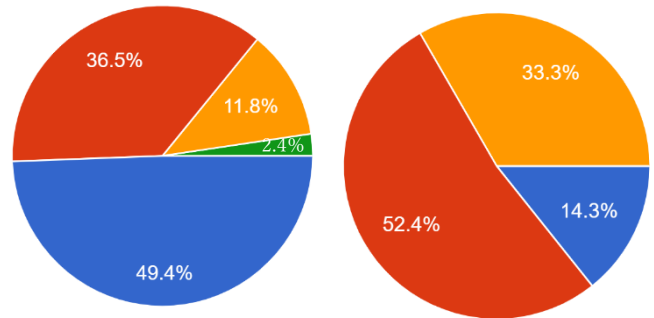
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

児童・保護者ともに9割以上が「楽しく学校に行っている」との回答結果であった。⇒普段の授業や学校生活、学校行事等で児童の実態に寄り添った取組の結果であると考えられる。一方で「楽しくない」と感じている児童も1割弱あった。普段の児童の様子に心を配って声をかけたり、保護者と連携しながら対応したりすることで、より楽しく学校に来ることができると考えられる。そのため、職員全員で共通理解し、日々取り組んでいく必要がある。

②夢（めあて）や目標をもってがんばっている



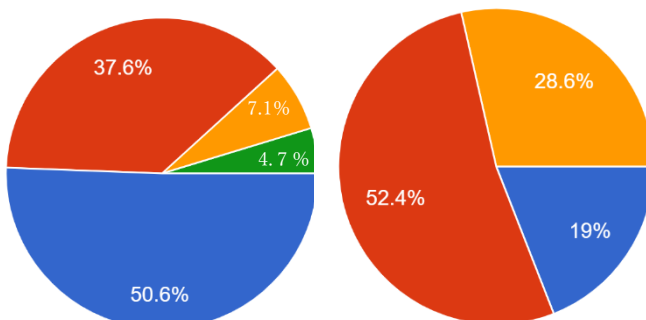
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

昨年度と比べて、肯定的な回答が約10%下がっている。⇒学期始めのめあて決めや行事などで自分になりたい姿を意識して頑張っている児童が多いことが考えられるが、一方で頑張ろうとする意識を継続することが難しいことが予想され、そのことが10ポイントの減少につながった可能性がある。普段の生活や行事、キャリアパスポート等でめあてを決めているので、その都度めあてを意識させる指導を改めて見直していくことが必要だと考える。

③失敗や間違いを恐れず、挑戦している。



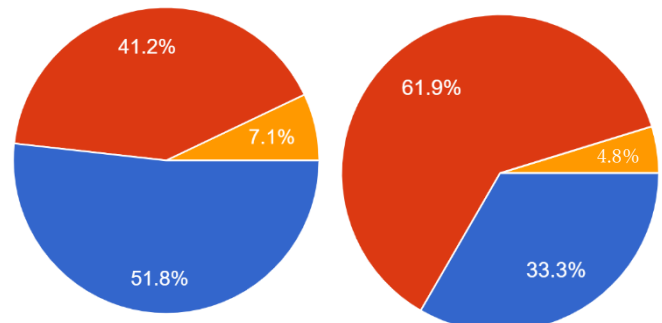
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

「そう思う」と回答した児童が昨年度と比較し、7%の増で肯定的な回答が9割近くあり、保護者は約7割が肯定的な結果であった。⇒学校行事、日々の学習などにおいて、問題解決や目標に向かって努力する児童が多くいる。自分の頑張りが伸びなどをふり返りながら、自信をつけ、新たな目標に向かって主体的に取り組む気持ちを持たせることが大切である。失敗や間違いから学び、何度でもチャレンジできるたくましい児童を育てていきたいと考える。

④誰とも仲良くできている。



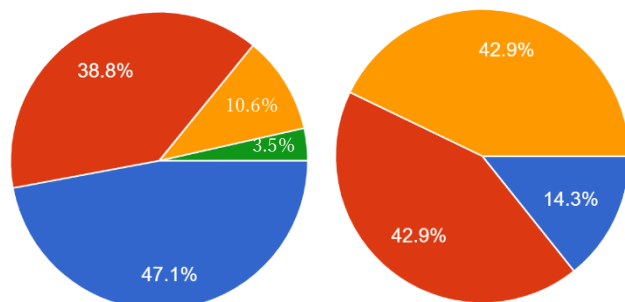
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

児童・保護者ともに9割強が肯定的な意見であった⇒普段の学校生活や縦割り班活動（ロングタイムや掃除）、人権教育（ひみつの友だち等）の取組でお互いの良いところを見つけたり、大切にしたりする気持ちが育っていると考えられる。これらの活動を継続するとともに、相手を傷つける言動を許さない指導を職員全体で共通理解し、担任を中心とした複数体制できめ細やかな対応を続けていく。

⑤自分から気持ちのよい声であいさつしている。



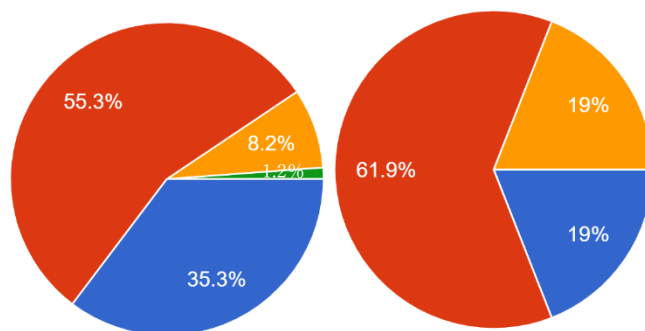
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

児童は約8割強が肯定的に回答している。一方で、保護者の肯定的な回答が約5割強に留まっている。⇒児童と保護者との認識のちがいが明らかになった。児童には「相手に伝わる挨拶」を意識させ、声の大きさだけでなく、目と目をつないだり、会釈をしたりする方法も合わせて指導していく。挨拶の大切さを啓発する取組を継続し、家庭と連携しながら取り組む必要がある。

⑥授業中は、しっかり話を聞き、自分の考えを伝えている。



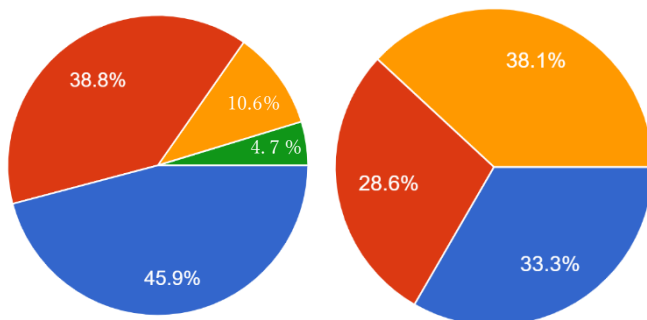
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

児童は9割、保護者は8割が肯定的な回答であった。⇒どの学年でも落ち着いて学習に取り組むことができている。また、個に応じた学習内容や環境設定を行うことで、どの子も学びに向かう意欲を高めることができている。「考えを伝える」方法については、挙手して全体に向けて伝えることに限らず、ペアトークやタブレットを用いた伝え方等、幅広い伝え方があることを教師・児童ともに認識し、授業改善に取り組んでいきたいと考える。また、そういった学習の様子を参観日や懇談、通信等で保護者に発信していく。

⑦本や詩に親しんでいる。



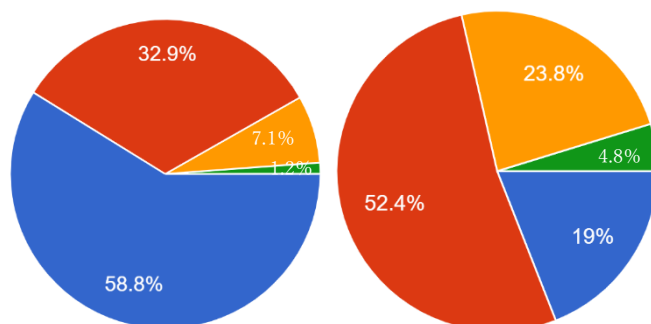
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

児童は8割、保護者は6割が肯定的な回答であった。⇒昨年度は保護者の肯定的な回答は読書が5割、詩が3割であったため、どちらと比較しても肯定的な回答が増えている。毎朝の図書委員会の啓発やチャレンジタイムにおける読書、週末読書、月1の家庭読書、読書マイスター等の継続的な取り組みが保護者に少しずつではあるが、浸透してきているように感じる。詩についても児童がチャレンジタイムに取り組み、それを掲示したり、詩集にして発信したりしていることが保護者にも伝わっているように感じる。

⑧大路漢字検定・計算検定に意欲的に取り組んでいる。



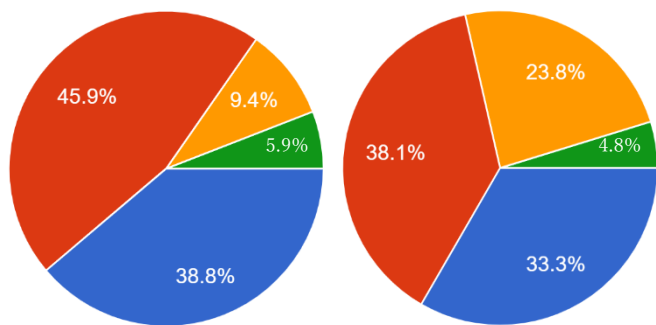
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

児童は9割、保護者は7割が肯定的な回答であった。⇒児童・保護者ともに肯定的な回答の割合は昨年度とそう変わらないが、「そう思う」に絞ると児童で8%、保護者で6%減る結果となった。どの学年でも家庭学習を中心に一生懸命取り組んでいるが、苦手な児童にとっては合格するのが困難で、モチベーションを上げにくい検定内容になっている可能性がある。今後はこの課題をふまえ、実施方法の見直しを行う必要があると感じている。

⑨家庭学習は、学年のめやすの時間でできている。



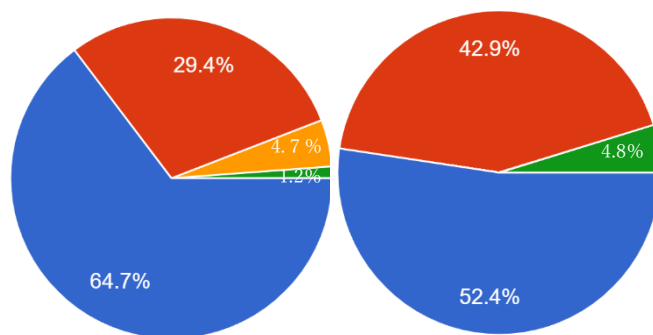
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

児童は8割、保護者は7割が肯定的な回答であった。
⇒児童、保護者ともに昨年度と同様の割合であった。どの学年においても漢字・計算・音読(読書)・マイノートをベースにした内容に取り組むことができている。家庭学習を行うことに課題がある児童については、児童が主体的に取り組めるようになることを目標に、家庭と連携しながら担任中心に声掛けを行っている。今後は主体的に家庭学習に取り組む態度をより一層向上させるためにも、「家庭学習の手引き」を見直し、量や質を児童が自己調整できるようにしていきたいと考える。

⑩地域の人との学習を楽しみにしている。



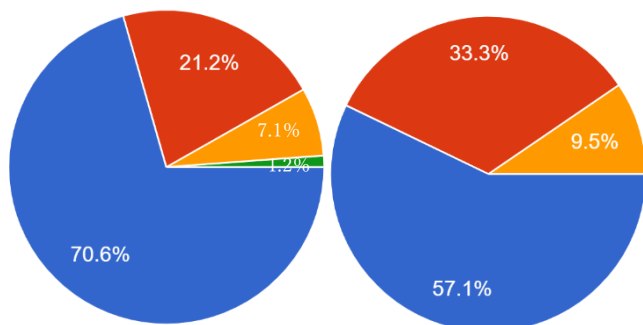
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

昨年度よりも肯定的な意見が児童、保護者ともに増加し、9割以上の高い水準を維持している。⇒保護者の肯定的な意見も昨年度より高くなっており、児童が家庭で学校のことを話す様子や学級通信、HP等から保護者にも認知が広がったことが考えられる。今後も学校支援コーディネーターと連携を図り、地域の方々の協力を得ながら、魅力を感じられるような教育活動を継続する。

⑪自分たちが住んでいる「ふるさと大路」が好きである。



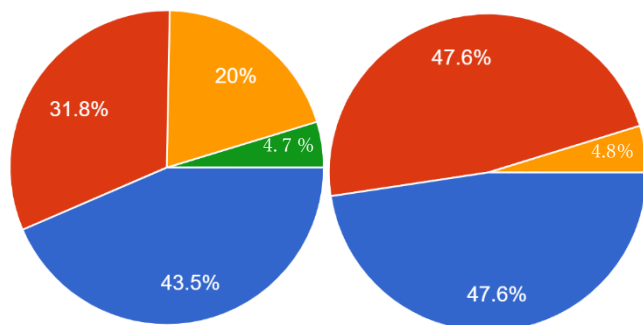
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

肯定的な意見が昨年度より、6%減少しているが、依然として高い数値を維持している。⇒地域の方々との学習活動で触れ合うことも多く、校外学習に出かける機会も多いことからふるさとの良さを感じているようである。教師自身の研修を深めながら、地域の教育資源を積極的に活用し、地域の良さや地域の方々の温かい思いが感じられるように指導を継続していく。

⑫自分にはよいところがあると思っている。



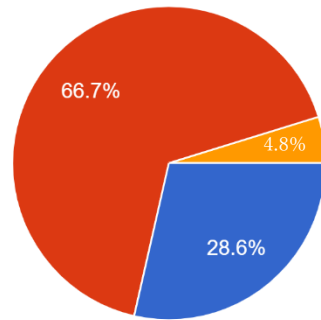
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

昨年度よりも、肯定的な回答が児童は、12%減少し7割強、保護者は4%増加し9割強になっている。⇒目標を持って落ち着いて学習する雰囲気や、友だちと仲良く過ごしている様子が見られ、自分の良さを感じられる面は数多くあるように感じる。キャリアパスポートで自分自身を振り返る活動、自分発見、ひみつの友だちなど、一人一人を大切にしたい取組を継続しつつ、効果的な言葉かけや肯定的な評価をしながら、児童が自分の良さを実感できるよう、支援をしていく。

⑬学校だより、校長室だより、保健だより、学級通信、ホームページなどで、学校の様子がよく伝わっている。



児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

肯定的な回答が9割強で昨年度よりも18%増加している。→ホームページ、メール、防災無線、紙媒体など、さまざまな方法を用いて学校の様子を発信している。学校行事においても、地域に広く参加を呼びかけるなど、従来の「開かれた学校」が戻りつつある。家庭と学校の連携を密にするために、今後も、ニーズに合った効果的な発信方法を検討し実践していく。

児童の意見・感想

サッカーができること
皆元気で仲良く楽しく登校していることです。
勉強が楽しいところ
地域の人がよくあいさつをしてくれること
みんなで遊んだり勉強を出来るからです。
かんじれんしゅうをおぼえられるところ
人が多いのが好き
クラブがあるところ。
みんなで遊ぶこと
友達がいっぱいいる
みんなと仲良く出来るところです
みんななかよしなところ
みんなが勉強を頑張っている
みんな仲良しでみんなと一緒に遊んでいるから。
友達がやさしい
みんなが仲良くて元気なところです。
友達と仲良くしているところ
学年関係なく仲良くしている
算数をみんなでべんきょうするところ
みんなで助け合い
学年関係なくみんな仲良く遊んでいること
人数が少ない
廊下がきれい
ともだちがやさしい
zennkouseitogatomodatitonayokuasobeteiru
優しいところ
友達がいて優しい先生がいっぱいいる
こうししゃがきれいなところ
サッカーができる
無し
みんなが誰をも仲良くしている
友達がやさしいから

あまり、ないです💧

皆が仲よく遊んでいるし、勉強も皆発表しているし、そうじもすみずみまでやっているところ
みんな元気で、やることをやっていていいともいいました。
運動場が広い！ 校舎が広い！
べんきょをがんばっている
みんなが仲良くしてること
みんな遊ぶこと
みんながなかよし
みんながいっしょけんめいべんきょうしている
みんなが仲がいいところ
みんな仲良しなところ
いじめがあまりないこと
外遊び
グラウンドが広くて色々な遊びをできる
たいいくがたのしいです

仲がいいところ

山や空が綺麗に見えて、学校で困ることがほとんどなく、色々な地域にかかわる授業が多くて、とても面白いことに
出会えるのがとてもいいところだと思う。

みんな外で元気に遊んでいる。挨拶をしている。

みんなが自分から仲良くなれている

ない

運動場が広い所です。

大体の人が結構いい人だし自然を生かした勉強があること

テストで100てんをとったこと

テスト

クラブがある。地域の方が授業をしてくださる。

みんながみんな仲良く遊んでいる

にぎやあ

しぜんなところ

学年関係なく仲良く遊んでいる。

みんなが元気なところ

友達がこせいでいい！

みんなが優しいところ

うんどう会がすき。

委員会が楽しいところ

みんながべんきょうをがんばっている

大路小学校の1～6年生みんなが仲良くしている。

外で遊ぶ人が多い

ほぼ毎日外であそんでいるところ。」

みんなが元気にしていること

なし

保護者の意見・感想

適当適切に接していただいていると思います。いつもありがとうございます。

子どもたちを見ていると、学校生活を楽しんでいる事が伝わってきます。素敵な環境を作ってくださっている大路小
学校の先生方に感謝いたします

運動会が毎年同じ日のままですが、温暖化のため暑い時期のなか練習するのはしんどいと思います。熱中症など
心配になります。5月頃に、不審者訓練がありましたが、入学早々の1年生にしては慣れていない学校生活のう
え、怖い思いをしてしばらくトラウマのようになってしまいました。避難訓練が必要だと大人は理解していますが、時
期を考えるか十分な説明をするなどが必要ではないかと思いました。